

おすすめの本

2024

～中学生向き～

鎌倉市図書館

QRコードを読み取ると図書館ホームページの本の情報が出てくるので、予約してね♪

『千に染める古の色』

久保田香里／著 紫昏たう／絵

アリス館 (2022年)



Y 913.6/姉



この物語の主人公、千古(ちふる)は13歳になって、「かさねの色目」に興味を持ちはじめます。それは、外の世界を見てみたいという自立の気持ちと一緒に、好奇心と共に湧き上がってくるものでした。千古の成長をワクワクしながら一緒に見守りませんか？

『ヨゾラ物語ファイル

オンボロボットは泣かない』

藤真知子／著 ポプラ社 (2022年)



Y 913.6/7姉



いまは、ヨゾラ紀。ロボットと人間の共存には、いろいろ問題がありそうです。でも、よく考えると、ロボットも人間も、現代も、ヨゾラ紀も、悩んでることは一緒かもしれない…。相手の気持ちに寄り添うって難しい。そばにいるひと(ロボット)と、一緒に乗り越えていきましょう！

『ナカスイ！ 海なし県の水産高校』

村崎なぎこ／著 祥伝社 (2023年)



¥ 913.6/ム



主人公のさくらは全てにおいて平均である自分から脱却するために、海なし県（栃木県）の水産高校に通うが早くも自信喪失、先行き不安になるも「ご当地おいしい！甲子園」のポスターを見て一念発起、出場を決意する！さて結果は!？。

『17シーズン 巡るふたりの五七五』

百舌涼一／著 講談社 (2024年)

クラスで「ぼっち」な音々が、クラスのスローガン決めて自分の言葉が選ばれたことをきっかけに、17音でつづられる俳句を通じて、自分の気持ちを表現する楽しさと人とのつながることの心地よさに気づきます。俳句や川柳の基礎知識や楽しみ方にも触れられる1冊。



¥ 913.6/円



『手で見るとぼくの世界は』

榎崎茜／作 酒井以／装画・挿絵

くもん出版 (2022年)



¥ 913.6/冊



全盲の双葉はある事件がきっかけで不登校に。中学生になっても学校に来ない双葉を心配する佑。白杖で出かけることへの恐怖を佑や双葉の目線で丁寧に描きます。佑は仲間と一緒に視覚支援学校で学びながら、双葉も母親と一緒に「伴歩・伴走クラブ」に参加しながら、少しずつ乗り越えていきます。視覚障害者の人の気持ちを知ることができる1冊です。

次の本も視覚障害者の生活がわかります！

『見えないボクと盲導犬アンジーの』

目もあてられない日々』

栗山龍太／原作 栗山ファミリー／文

エイイチ／企画構成・イラスト

小学館 (2023年)

¥ 913.6/冊



『きみたちは宇宙でなにをする？』

2050年に活躍するために知っておきたい38の話』

山本康正／著 飛鳥新社（2023年）



¥ 159.7



皆さんは、2050年、どのような生活を想像しますか？コンピュータ等の更なるAI化により、生活スタイル（人生）そのものを考え直さなければならぬかもしれません。でも、まだまだ先は長いです。ゆっくり…。

『おしごとそうだんセンター』

ヨシタケシンスケ／著 集英社（2024年）

将来、自分がどういう仕事をしようか決めている人は、きっとそんなに多くないと思うけれど、何となく働いているのだろうか…と思っている人は多いでしょう。この本には、仕事や仕事の選び方のヒントがたくさん書かれています。まずは、この本を読んで仕事をしている自分を想像してみては？



¥ 366



『にげて さがして』

ヨシタケシンスケ／著
赤ちゃんとママ社（2021年）



『ライトニング・メアリ』

竜を発掘した少女』

アンシア・シモンズ／作 布施由紀子／訳
カシワイ／絵 岩波書店（2022年）



¥ 289.2/7



赤ん坊の頃、かみなりに打たれて、大好きな父親から「稲妻（ライトニング）メアリ」とよばれていたメアリ。とーっても変わり者だったけれど、自分の好きなこと、得意なことをちゃんとわかっていて、自分の道を突き進んでいく強さをもっていた女の子。化石採掘者メアリ・アニングの伝記ですが、化石に興味がなくともメアリの生き方に心揺さぶられるはず。化石の話に興味のある人は、次の本もおすすめ！

『恐竜がもっと好きになる化石の話』

ゆり先生の化石研究室』

木村由莉／著 岩波書店（2023年）

¥ 457.8



『僕らの未来が変わる
お金と生き方の教室』

池上彰／監修 Gakken (2023年)



¥ 330

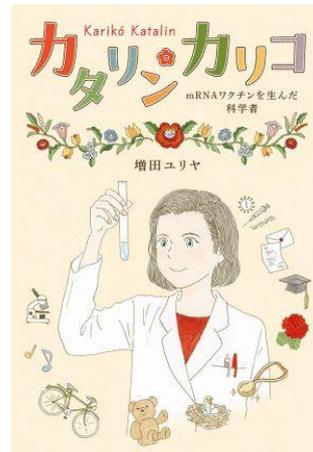


お金のこつって、どこで学べるの？誰が教えてくれるの？成長したら、自然と身につく？
今の君にぜひ学んでほしいお金の大切なことが、この本には、たくさん詰まっています。そして、この本を読んだら、お金より大事なことにも気付いているはず…。

『カタリン・カリコ

mRNAワクチンを生んだ科学者』

増田ユリヤ／著 ポプラ社 (2023年)



¥ 289.2



2020年、世界中の日常を大きく変化させた新型コロナウイルス。感染予防のワクチン開発に成功した科学者のひとり、カタリン・カリコ。女性研究者として移民として、さまざまな苦難を乗り越え、探究し続けるカタリンの情熱の原点を覗いてみませんか。

予告!!

図書館 de 一句

俳句・川柳 大募集!!

あなたの思いを
17文字に…。

テーマ「読書・図書館」

「読書・図書館」をテーマに俳句・川柳を作ってみませんか？
五・七・五の限られた文字の中で、自由に表現してみましょう。
応募期間は8月中旬～9月末を予定しています。
応募された作品は、鎌倉市内の図書館で掲示します。
詳しい内容が決まったら、図書館ホームページや図書館内でお知らせします。
学校にもチラシを配布するので、先生に確認してみてくださいね。



鎌倉市図書館 YA 委員会発行 2024.7

鎌倉市図書館>ティーンズのページ→

